資料－１

令和８年度 第３回利根川水系渇水対策
連絡協議会 幹事会（秋季定例会）

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



八ッ場ダムと八ッ場あがつま湖（令和８年１１月４日撮影）

令和８年１１月５日

関 東 地 方 整 備 局

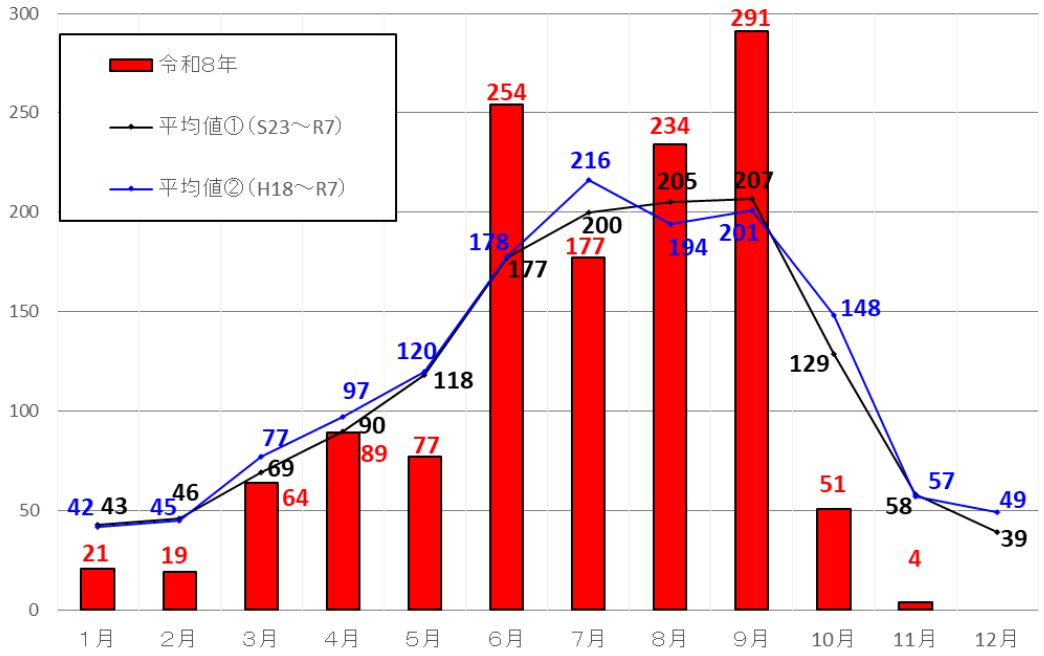
１．利根川上流９ダム等の現状

（１）利根川

１）栗橋地点上流域平均降水量の状況（令和 8 年 11 月 4 日 0 時までの降水量）

栗橋地点（埼玉県久喜市栗橋地先）上流域における降水量は 1 月から 5 月までは平均値（昭和 23 年～令和 7 年の 78 年間の平均）を下回る状況が続いていましたが、6 月は平均の 144%(254 ㎜)、8 月は平均値の 114%(234 ㎜)、9 月は平均値の 141%(291 ㎜) と、台風等の降雨による影響により平均値を大きく上回る降水量となりました。

（図－1、表－1 参照）



図－1　利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和 8 年 11 月 4 日 0 時まで）

表－1　利根川栗橋上流域平均降水量（令和 8 年 11 月 4 日 0 時まで）　単位：㎜

単位（㎜）	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計	摘　要
平成２７年	57	36	63	86	45	221	248	207	300	29	127	33	1,452	-
平成２８年	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1,431	-
平成２９年	61	37	56	73	95	97	240	274	113	368	18	22	1,454	-
平成３０年	39	17	108	69	128	114	178	187	254	56	23	35	1,208	-
令和元年	26	17	75	96	108	248	249	195	95	489	56	36	1,690	-
令和２年	76	25	99	134	104	211	278	81	163	146	10	29	1,356	-
令和３年	34	45	102	78	95	181	256	271	151	77	59	70	1,419	-
令和４年	28	47	58	127	142	134	282	118	217	65	70	36	1,324	-
令和５年	22	26	86	64	138	270	90	193	154	102	48	23	1,216	-
令和６年	49	65	135	87	130	145	148	306	154	124	76	25	1,444	-
令和７年	24	45	90	92	166	138	148	98	141	95	22	35	1,094	-
平均値①(S23～R7)	43	46	69	90	118	177	200	205	207	129	58	39	1,381	-
平均値②(H18～R7)	42	45	77	97	120	178	216	194	201	148	57	49	1,424	-
令和８年	21	19	64	89	77	254	177	234	291	51	4		1281	-
平均値①に対する割合	49%	41%	93%	99%	65%	144%	89%	114%	141%	40%	7%		93%	-

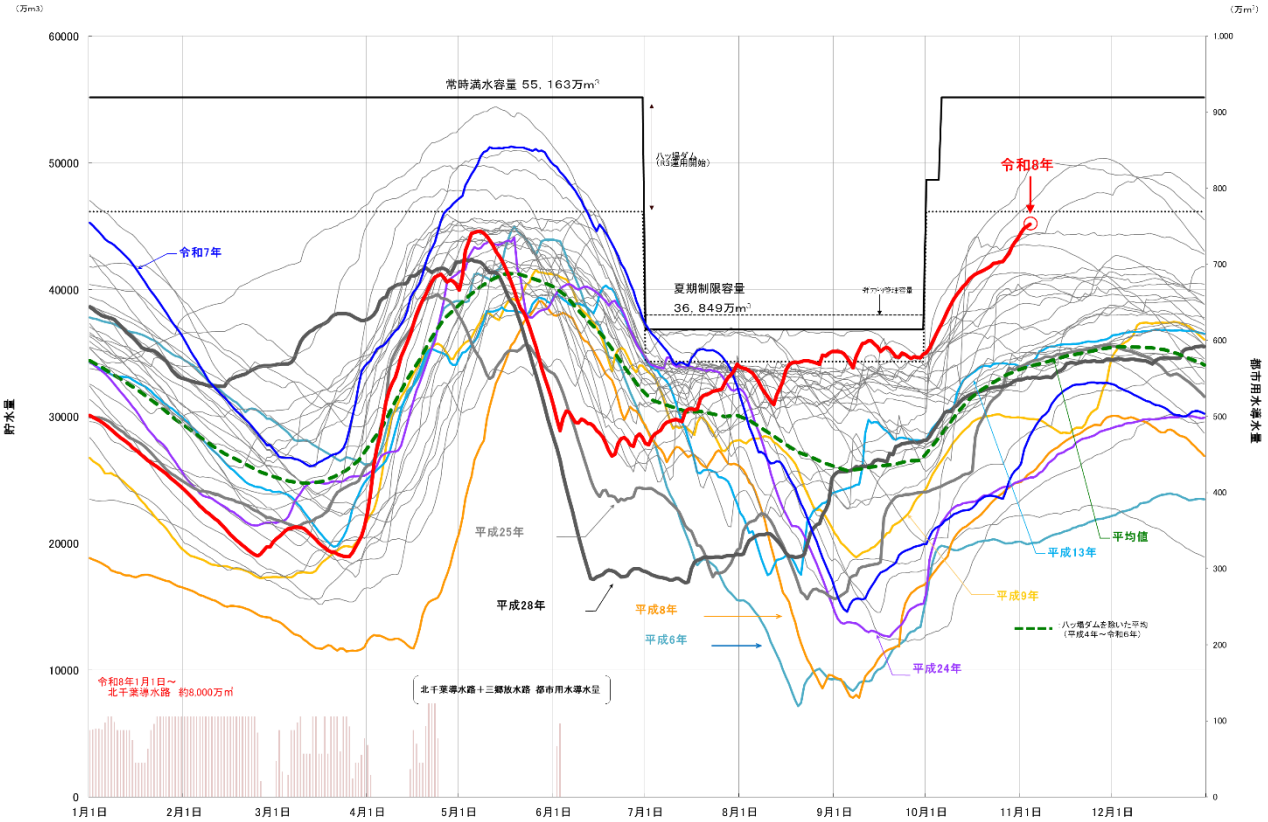
注）平均値①はデータが存在する期間（78ヶ年）を平均したもの

平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

２）利根川上流９ダムの貯水状況等（令和８年 11 月４日０時現在）

利根川上流９ダムの合計貯水量は、５月から６月まで平均値を下回る状況が続いていましたが、台風等の降雨による影響により、７月以降、ダムの貯水量は回復傾向となり、令和８年 11 月４日現在の合計貯水量は、４億 5,164 万 m3（貯水率約 82%）となっています。

（図－2、表－2 参照）



図－2　利根川上流９ダム合計貯水量図（令和８年 11 月４日０時現在）

表－2　利根川上流９ダム　ダム別貯水量（令和８年 11 月４日０時現在）

ダ　ム　名	有　効　容　量 (万m3)	貯　水　量 (万m3)	貯　水　率 (%)
矢木沢ダム	11,550	11,385	99
奈良俣ダム	8,500	7,693	91
藤原ダム	3,101	2,960	95
相俣ダム	2,000	924	46
薗原ダム	1,322	757	57
八ッ場ダム	9,000	6,584	73
下久保ダム	12,000	7,272	61
草木ダム	5,050	4,964	98
渡良瀬貯水池	2,640	2,625	99
９ダム合計	55,163	45,164	82
８ダム合計の平均値 （平成４年～令和７年）		33,992	（平均値に対して133%）

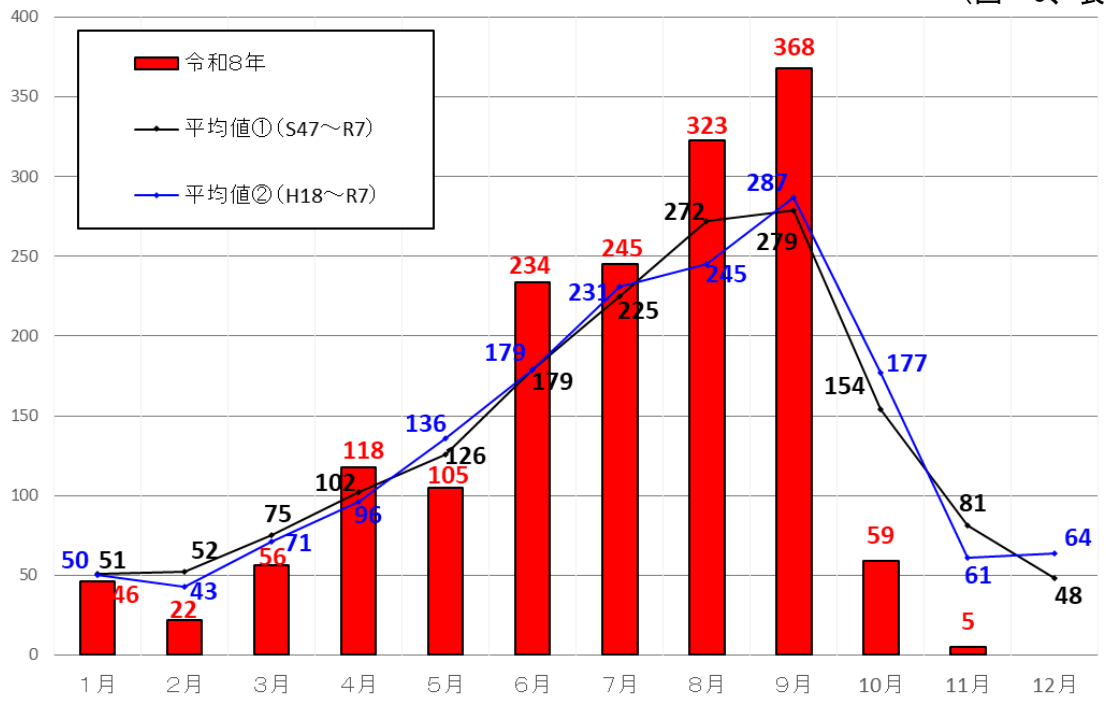
※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合
※過去の貯水量平均値は、八ッ場ダム貯水量を含めず８ダムの合計貯水量で計算したもの

（２）鬼怒川

１）佐貫地点上流域平均降水量の状況（令和８年 11 月４日０時までの降水量）

佐貫地点（栃木県塩谷町佐貫地先）上流域における降水量は、４月を除き１月から５月までは平均値（昭和 47 年～令和７年の 54 年間の平均）を下回っていましたが、６月から９月までは台風等の降雨による影響により、平均値を上回る降水量となりました。

（図－3、表－3 参照）



図－3　鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和８年 11 月４日０時まで）

表－3　鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和８年 11 月４日０時まで）単位：mm

単位(mm)	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
平成２７年	55	67	82	68	61	204	276	201	624	28	112	47	1,825	－
平成２８年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1,392	－
平成２９年	91	45	38	74	93	95	242	337	200	392	18	62	1,687	－
平成３０年	73	19	174	74	132	94	240	330	328	107	31	51	1,653	－
令和元年	23	12	71	71	149	245	251	266	132	590	64	25	1,899	－
令和２年	106	19	78	172	108	135	231	102	369	120	12	44	1,496	－
令和３年	34	56	125	101	99	186	255	364	169	91	111	116	1,707	－
令和４年	56	53	61	115	207	145	296	162	239	77	62	48	1,521	－
令和５年	30	26	63	68	150	248	87	321	211	116	87	13	1,420	－
令和６年	74	43	133	76	162	109	169	359	185	128	82	41	1,561	－
令和７年	39	64	74	116	191	141	234	124	171	147	24	72	1,397	－
平均値①（S47～R7）	51	52	75	102	126	179	225	272	279	154	81	48	1,644	－
平均値②（H18～R7）	50	43	71	96	136	179	231	245	287	177	61	64	1,640	－
令和８年	46	22	56	118	105	234	245	323	368	59	5		1,581	－
平均値①に対する割合	90%	42%	75%	116%	83%	131%	109%	119%	132%	38%	6%		96%	－

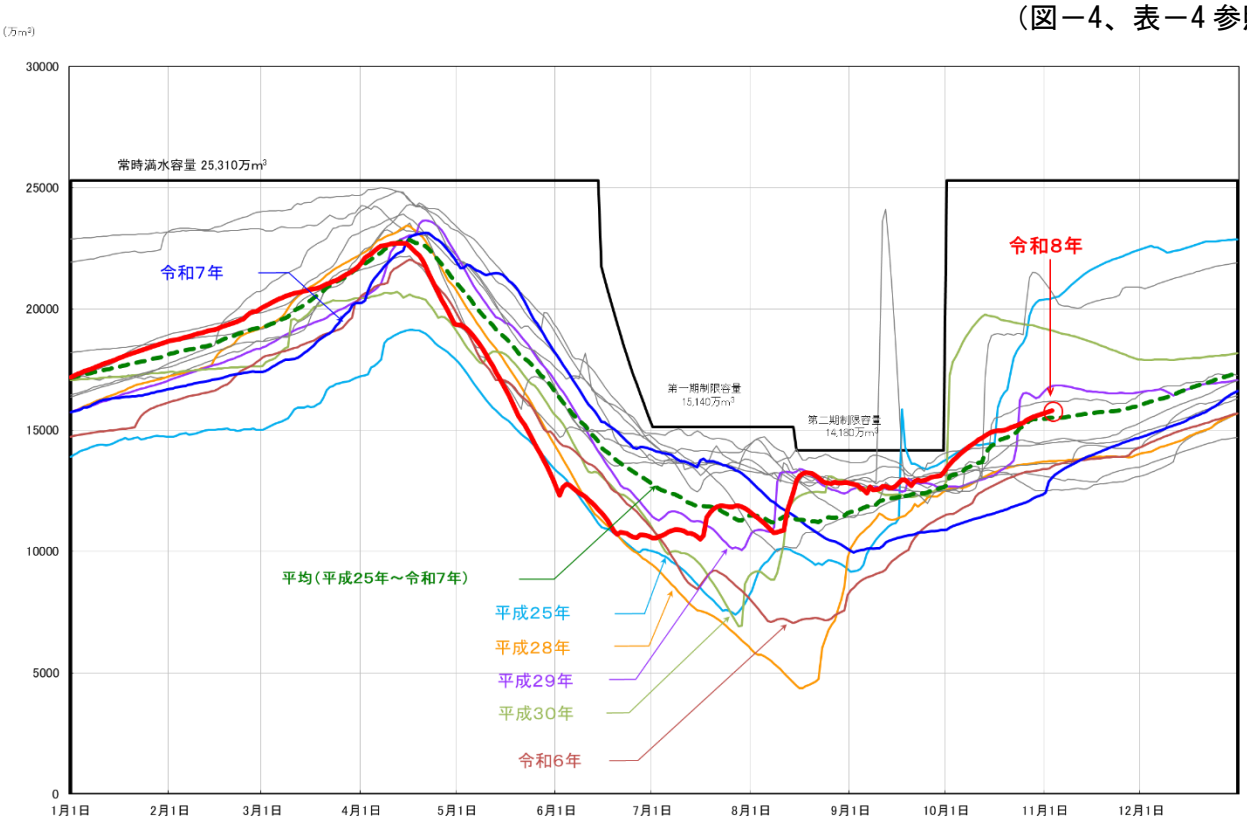
注）平均値①はデータが存在する期間（54ヶ年）を平均したもの

平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

２）鬼怒川上流４ダムの貯水状況等（令和８年 11 月４日０時現在）

鬼怒川上流４ダムの合計貯水量は、７月中旬まで平均値以下の水準で推移していましたが、その後は台風等の降雨による影響により平均値以上または同程度で推移し、令和８年 11 月４日現在の合計貯水量は、１億 5,809 万 m3（貯水率約 62%）となっています。

（図－4、表－4 参照）



図－4　鬼怒川上流４ダム合計貯水量図（令和８年 11 月４日０時現在）

表－4　鬼怒川上流４ダム　ダム別貯水量（令和８年 11 月４日０時現在）

ダ　ム　名	有　効　容　量（万m3）	貯　水　量（万m3）	貯　水　率（%）
五十里ダム	3,200	1,463	46
川俣ダム	7,310	5,781	79
川治ダム	7,600	3,952	52
湯西川ダム	7,200	4,613	64
４ダム合計	25,310	15,809	62
４ダム合計の平均値（平成25年～令和７年）		15,530	（平均値に対して102%）

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

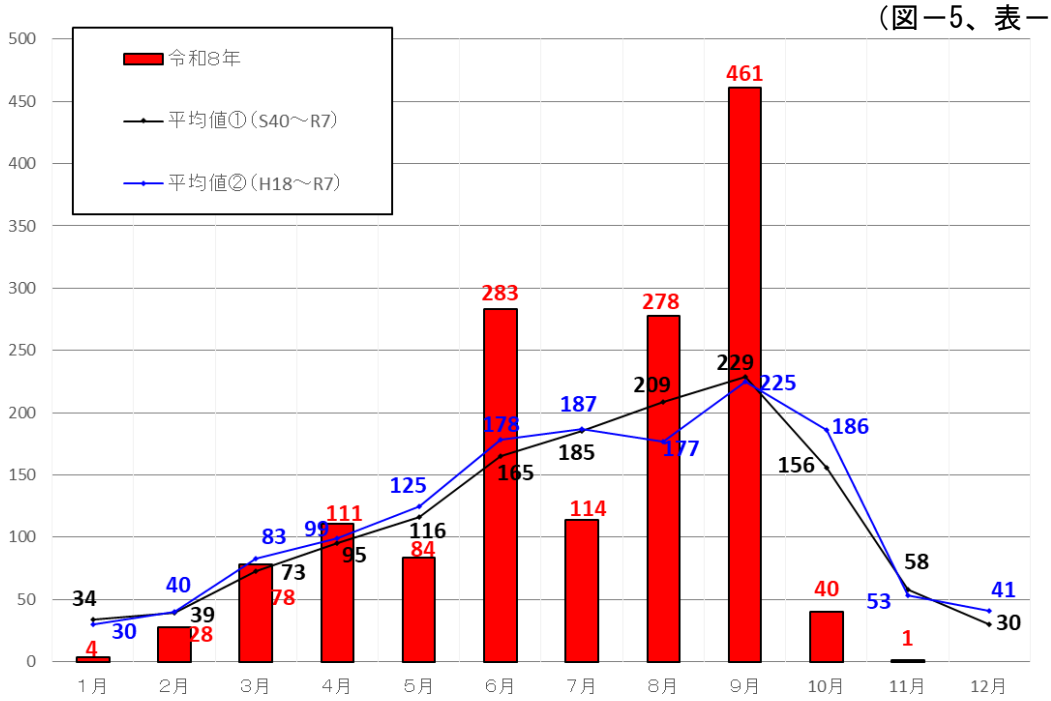
参考

（３）荒川水系

１）秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和８年 11 月４日０時までの降水量）

秋ヶ瀬（埼玉県志木市宗岡地先）地点上流域における降水量は、１月から５月までは平均値（昭和 40 年～令和７年の 61 年間の平均）を大きく上回る降雨はありませんでしたが、台風等の降雨による影響により、６月は平均値の 172%（283 ㎜）、９月は平均値の 201%（461 ㎜）と平均値を大きく上回る降水量となりました。

（図－5、表－5 参照）



図－5　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和８年 11 月４日０時まで）

表－5　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和８年 11 月４日０時まで）単位：㎜

単位(㎜)	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
平成２６年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682	－
平成２７年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424	－
平成２８年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	－
平成２９年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438	－
平成３０年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312	－
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881	－
令和２年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	－
令和３年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366	－
令和４年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361	－
令和５年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	47	9	1,110	－
令和６年	26	58	124	72	160	184	103	409	115	146	65	2	1,464	－
令和７年	18	7	131	121	191	107	138	48	190	78	5	18	1,052	－
平均値①（S40～R7）	34	39	73	95	116	165	185	209	229	156	58	30	1,389	－
平均値②（H18～R7）	30	40	83	99	125	178	187	177	225	186	53	41	1,424	-
令和８年	4	28	78	111	84	283	114	278	461	40	1		1,482	－
平均値①に対する割合	12%	72%	107%	117%	72%	172%	62%	133%	201%	26%	2%		107%	－

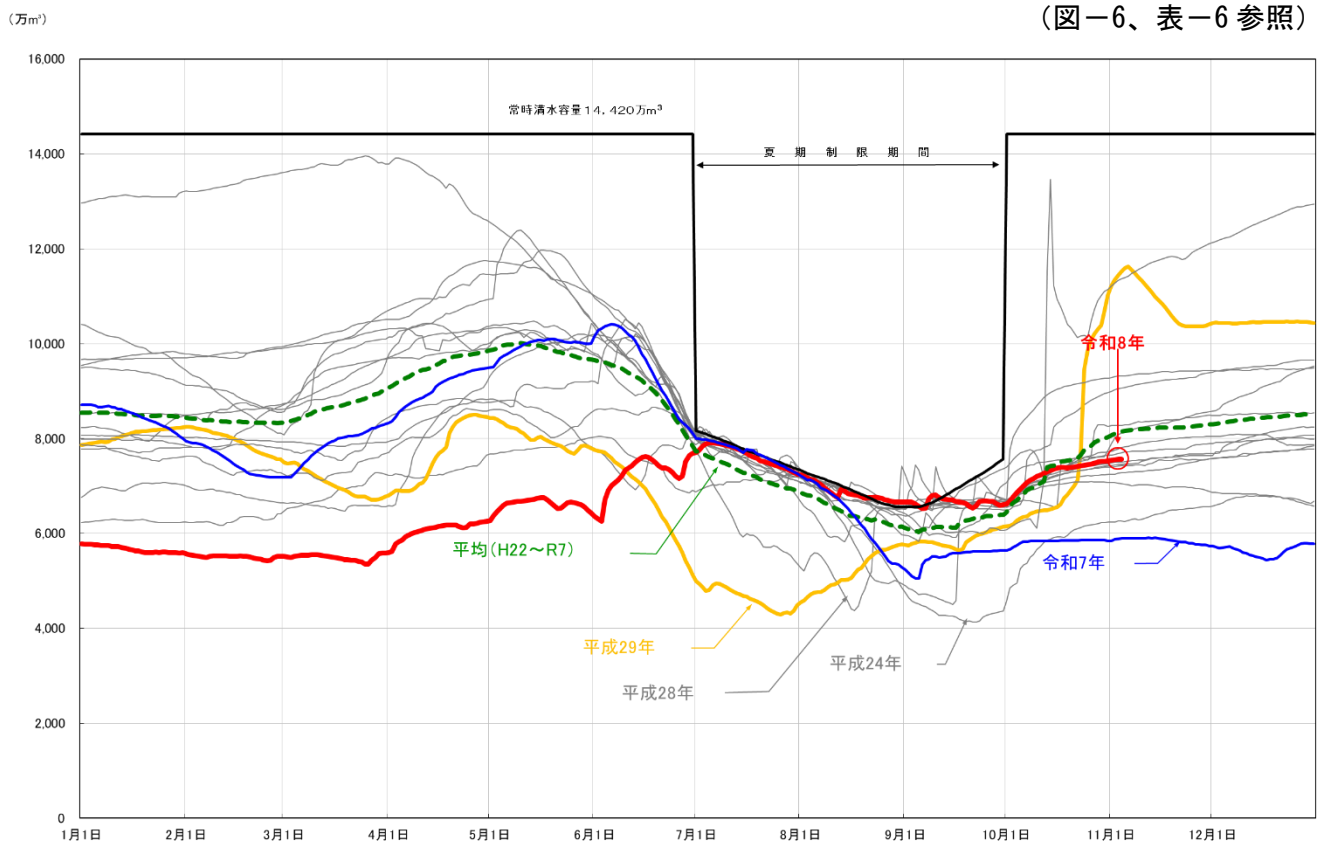
注）平均値①はデータが存在する期間（61ヶ年）を平均したもの

平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

２）荒川４ダムの貯水状況等（令和８年 11 月４日０時現在）

荒川４ダムの合計貯水量は、６月まで平均値を下回って推移しましたが、７月から 10 月中旬までは台風等の降雨による影響により、貯水量は平均値以上または同程度の水準で推移しました。その後、10 月の少雨によって、貯水量は平均値以下で推移するようになり、令和８年 11 月４日現在の合計貯水量は、7,567 万 m3（貯水率約 52%）となっています。

（図－6、表－6 参照）



図－6　荒川４ダム合計貯水量図（令和８年 11 月４日０時現在）

表－6　荒川４ダム　ダム別貯水量（令和８年 11 月４日０時現在）

ダム名	有効容量（万m3）	貯水量（万m3）	貯水率（%）
二瀬ダム	2,000	66	3
滝沢ダム	5,800	2,917	50
浦山ダム	5,600	3,579	64
荒川貯水池	1,020	1,005	99
４ダム合計	14,420	7,567	52
４ダム合計の平均値（平成22年～令和７年）		8,148	（平均値に対して93%）

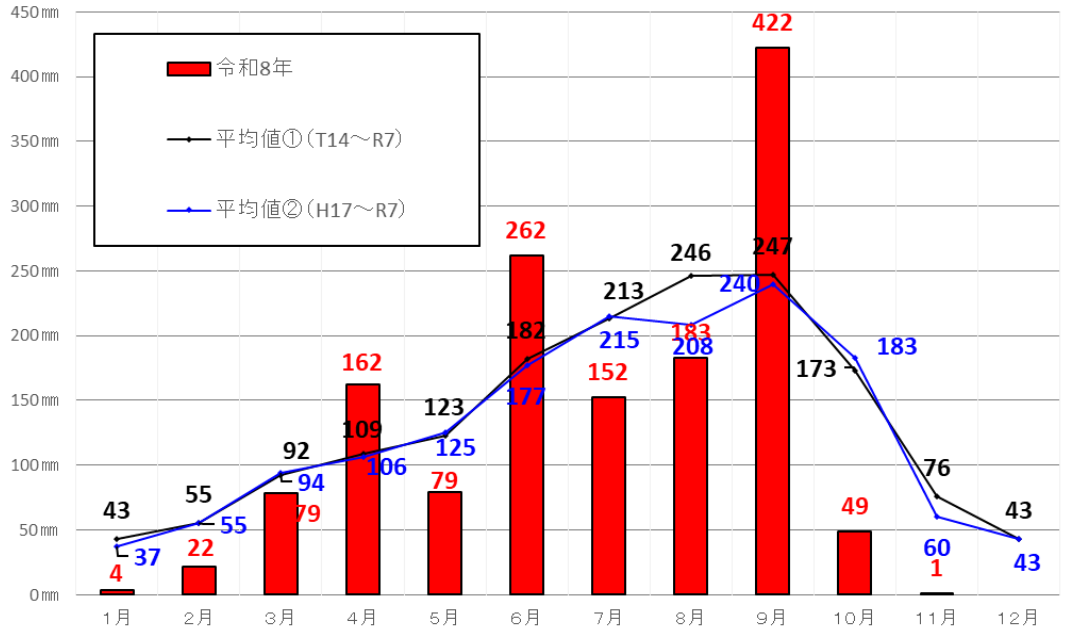
※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

（４）多摩川水系

１）小河内ダム地点上流域平均降水量の状況（令和 8 年 11 月 4 日 9 時までの降水量）

小河内ダム地点上流域における降水量は、4 月は平均値（大正 14 年～令和 7 年の 101 年間の平均）の 149%（162mm）、6 月は平均値の 144%（262mm）、9 月は平均値の 171%（422mm）となりましたが、その他の月は平均値以下となりました。

（図－7 参照）

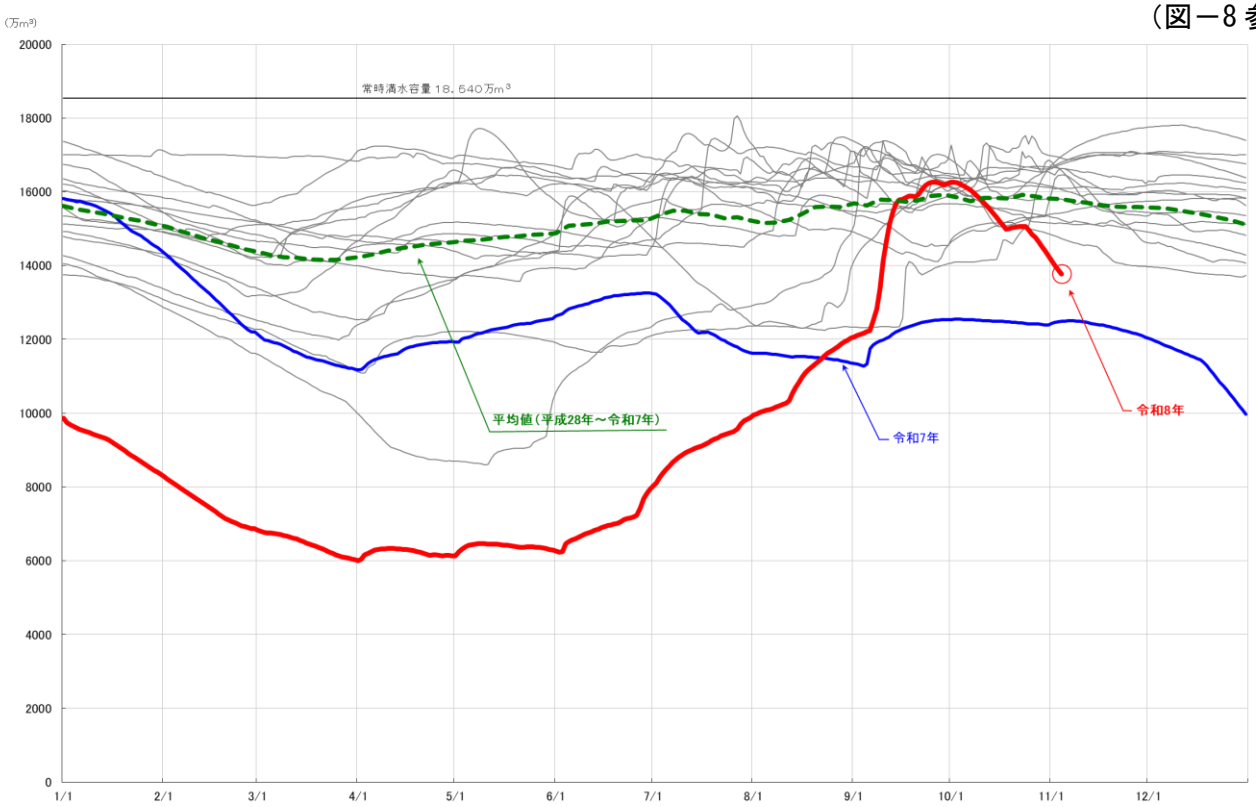


図－7　多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量（令和 8 年 11 月 4 日 9 時までの降水量）

２）小河内ダムの貯水状況

令和 8 年 11 月 4 日 7 時現在の貯水量は、1 億 3,765 万 m3 となっています。

（図－8 参照）



図－8　多摩川小河内ダム貯水容量図（令和 7 年 11 月 4 日 7 時現在）

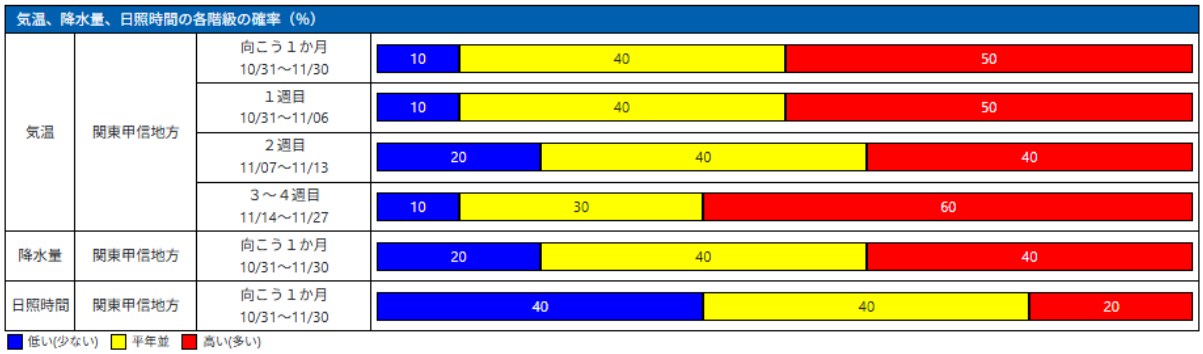
２．今後の見通し

気象予報

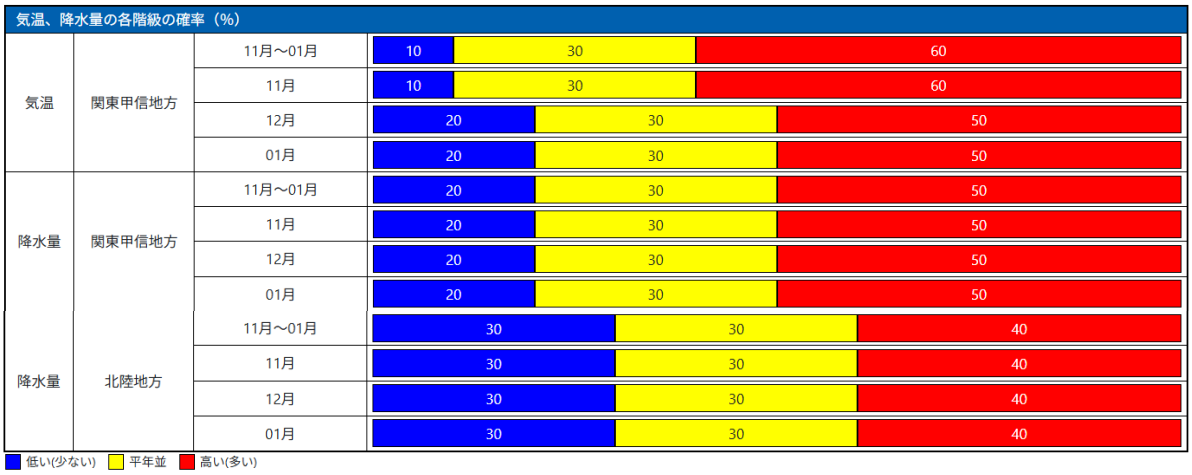
令和 8 年 10 月 29 日気象庁発表の関東甲信地方の 1 か月予報(令和 8 年 10 月 31 日から令和 8 年 11 月 30 日までの見通し)によると、向こう 1 か月の気温は「高い」の確率が 50% 、降水量は「多い」の確率が 40%となっています。また、令和 8 年 10 月 20 日気象庁発表の 3 か月予報(令和 8 年 11 月から令和 9 年 1 月までの見通し)によると、向こう 3 か月の気温は「高い」の確率が 60% 、降水量は「多い」の確率が 50%となっています。

なお、令和 8 年 9 月 18 日気象庁発表の寒候期予報（12 月～2 月までの天候の見通し）によると、関東甲信越地方の今冬は、気温が「高い」の確率が 60% 、降水量が「多い」の確率が 50%となっています。

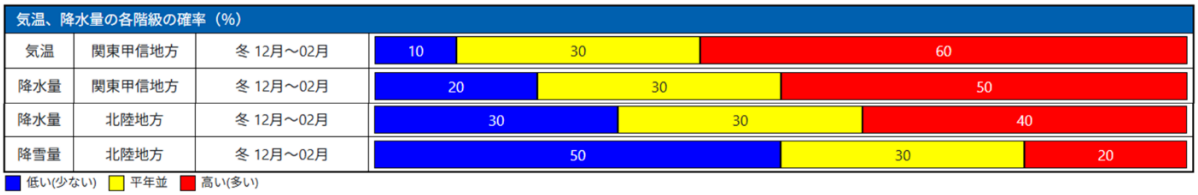
1 か月予報（令和 8 年 10 月 29 日発表）



3 か月予報（令和 8 年 10 月 20 日発表）



寒候期予報（令和 8 年 9 月 18 日発表）



３．今後の対応

- 今後は、利根川上流域の降水や積雪状況、都市用水の水利用を十分考慮し、工事に伴う貯留制限による利水容量への影響を最小限にするよう努めるとともに、既存施設等を広域的かつ効果的に活用してきめ細かな運用を行っていきます。

- 利根川水系渇水対策連絡協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。